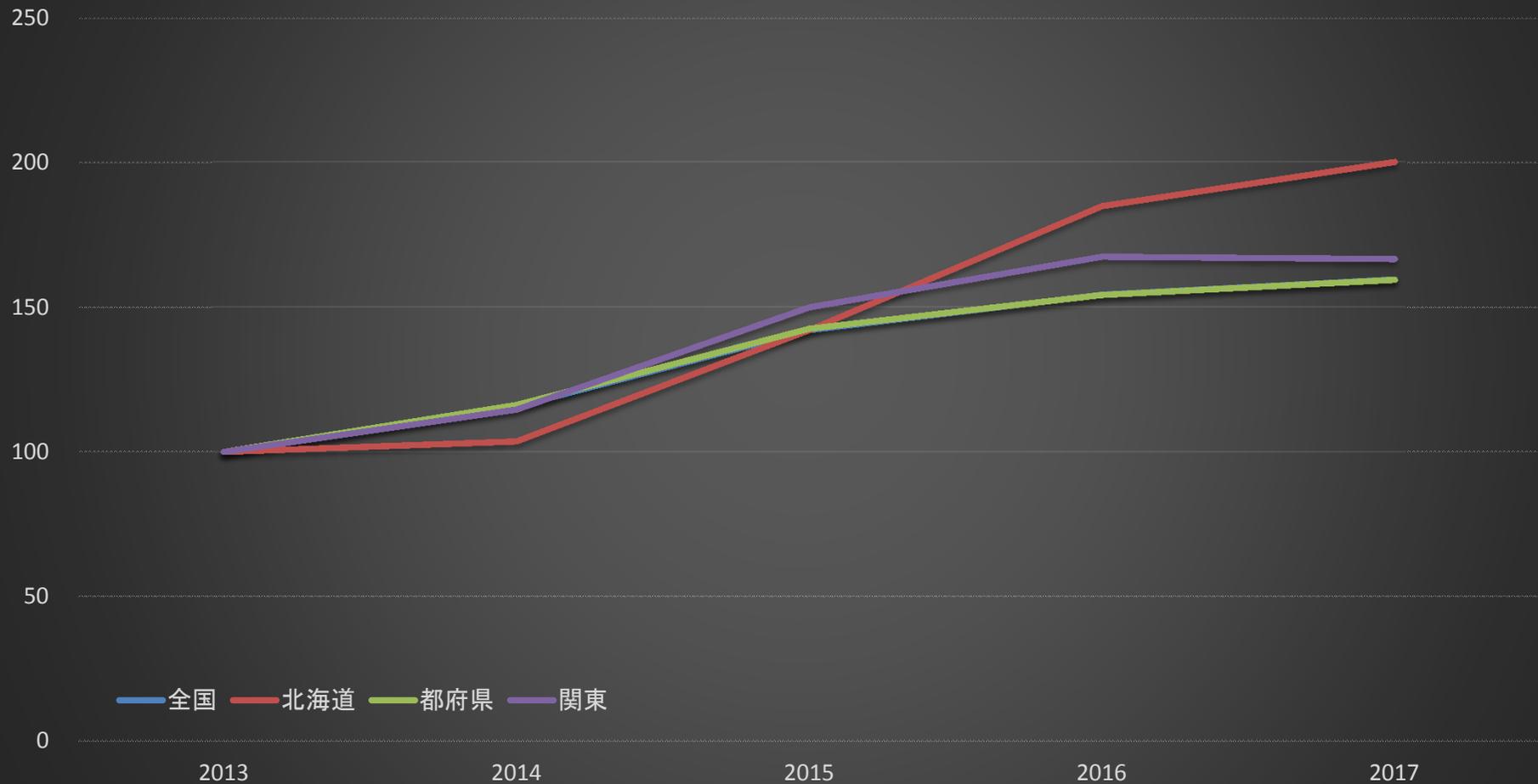


過去5年間の飼料作物(WCS用稲)作付面積の推移(2013年=100)

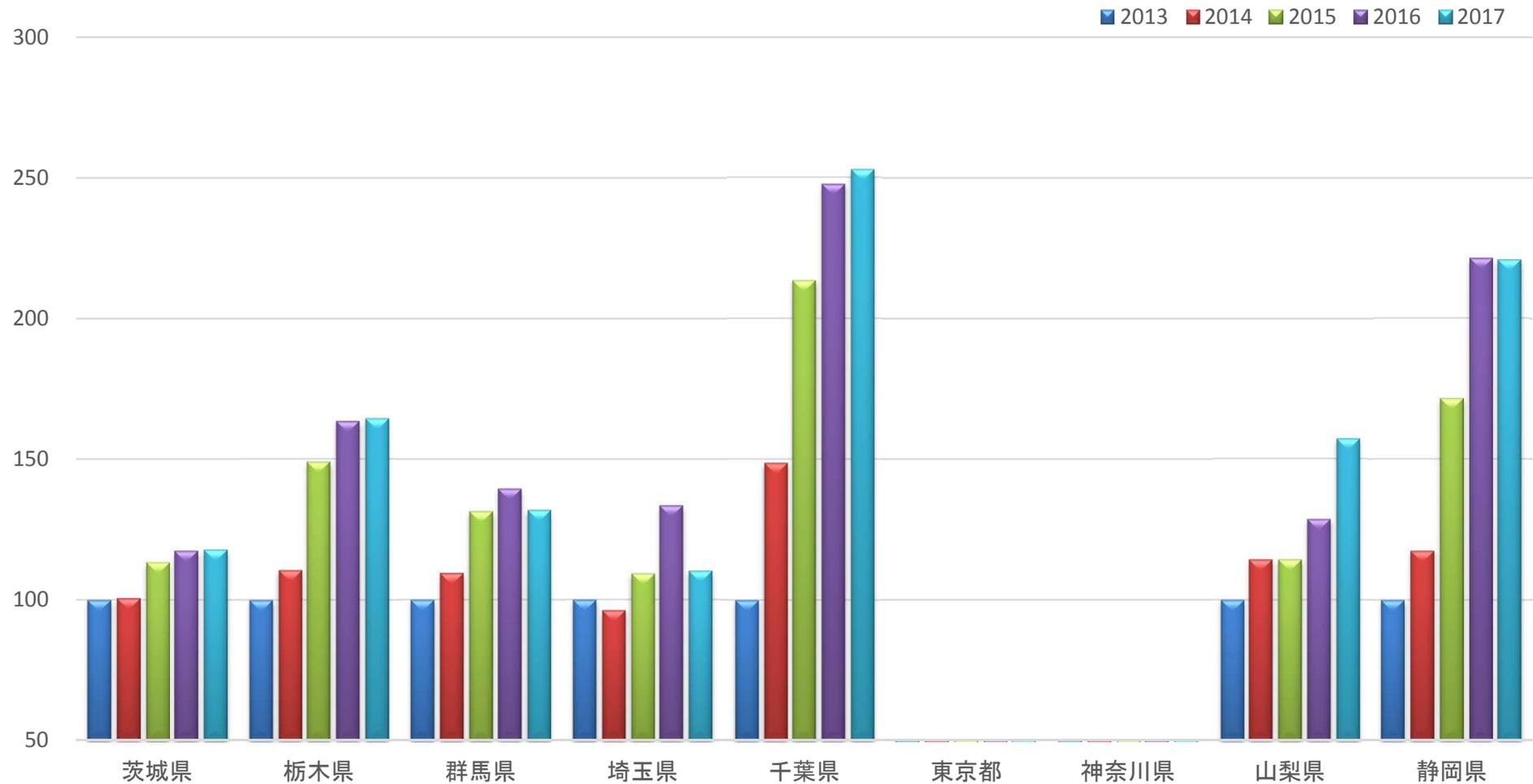


○北海道、都府県いずれも増加傾向。一方、関東は微減であった。

○2012年に比べ、2017年産は前年同様北海道2倍、都府県1.6倍、関東1.7倍であった。

※2017年産より統計方法が変更されている。(その他青刈り作物→飼料作物[参考] WCS用稲)

過去5年間の管内飼料作物(WCS用稲)作付面積の推移(2013年=100)



- 2017年産で最も作付面積が伸びているのは千葉県2.5倍。次いで静岡県2.2倍、栃木県1.6倍。
- 2014年産以降増加傾向にあったが、2017年産は増加が2県、前年並みが3県、減少したのが2県。
- 東京都と神奈川県は作付け実績はない。

飼料作物作付面積(WCS用稲) (単位:ha)

	2013	2014	2015	2016	2017
全国	26,900	31,100	38,200	41,500	42,893
北海道	250	259	355	462	500
都府県	26,600	30,900	37,900	41,000	42,391
関東	2,721	3,119	4,078	4,553	4,532
茨城県	517	520	586	607	609
栃木県	1,040	1,150	1,550	1,700	1,710
群馬県	422	462	554	588	556
埼玉県	108	104	118	144	119
千葉県	444	660	948	1,100	1,123
東京都	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-
山梨県	7	8	8	9	11
静岡県	183	215	314	405	404

資料:作物統計(毎年収穫期時点)